

## 平成18年度第9回理事会議事概要

日 時 平成18年12月22日(金) 13:30～14:20

場 所 特別会議室

出席者	理事長	大 熊 幹 章
	理事(企画・総務担当)	川 喜 多 進
	理事(森林研究担当)	石 塚 和 裕
	理事(林業・木材産業研究担当)	久 田 卓 興
	監事	真 柴 孝 司
	監事	井 上 徹 雄
	企画調整部長	志 水 俊 夫
	総務部長	金 澤 弘 行
	事務局(企画科長)	大 河 内 勇
	事務局(総務課長)	土 肥 史 朗

### 1. 開会

### 2. 議事

#### (1) 監事監査報告

(井上監事)

<資料1：監事監査報告書により説明>

今回は重点課題2課題について、本所および北海道支所において監査を実施した。報告書の監査実施結果の概要に関連して、若干コメントさせていただく。この地球温暖化対策の重点課題は主に森林の吸収源対策と排出源対策の2つに関わる課題であるが、これについては特に京都議定書の第二約束期間に向けて、森林資源・木質資源の両方の面から根拠となる科学的な情報を求められるため、できるだけ計画を前倒しして進めていく必要があると考える。

この重点課題では、いずれのプロジェクト課題・研究項目も出口は明確にされており、全体的に研究者の意識も高いとの印象を受けた。さらに問題意識の共有化を深めてほしい。また、関連する課題群の間あるいはプロジェクト課題等の間で、データのやり取りも含めた横の連携をさらに密にしていける部分があるのではないかと印象を受けた。

各課題群の中で継続課題・新規課題それぞれあるが、5年後の平成22年以前に研究期間が終了してしまう課題群があるので、新しい課題設定についても早めの対応が必要である。

(真柴監事)

要点を掴んで私達にわかり易く説明していただいたことに感謝する。

全体の印象として、自分が実施している課題・研究が如何に重要であるかということをもっと主張して欲しかった。

(大熊理事長)

来年度は別の重点課題を監査するのか。

(真柴監事)

来年以降、別のジャンルの監査を実施するかどうかは未定である。

(大熊理事長)

本件の報告について了解する。

(2) 平成18年度研究職員選考採用について（報告）

(土肥総務課長)

<資料2：平成18年度研究職員選考採用についてにより説明>

今回8名の研究職員を採用し、うち1名は平成19年1月1日付け採用とする。

(石塚理事)

女性研究者を採用できるよう努力していきたい。今回は1名を採用した。

(大熊理事長)

本件の報告について了解する。

(3) 平成18年度研究職員の昇格について（報告）

(土肥総務課長)

<資料3：平成18年度研究職員の昇格についてにより説明>

平成18年12月27日に辞令交付、1月の俸給日に差額を支給する予定である。

なお、発令時期は平成18年4月1日付けとする。

(大熊理事長)

本件の報告について了解する。

次回の平成18年度第10回理事会は1月26日（金）13：30を予定する。

### 3. 閉会